

名古屋外国語大学課程博士学位申請要領

2003. 6. 25 第 41 回 研究科会議承認
2011. 1. 19 第 96 回 研究科会議承認
2015. 4. 22 第131回 研究科会議承認

[提出書類及び注意事項]

1. 提出期間

5月20日～6月1日又は11月20日～12月1日（土・日・祝日の場合は、その翌授業日）
上記期間内に下記の2～8の書類を大学院事務室まで提出すること。

2. 博士学位論文審査申請書（本研究科所定の様式）…………… 1 通

- (1) 取得単位数及び研究経過報告書の認定欄は、大学院事務室で確認のうえ、記載すること。
- (2) 指導教授に確認印を押印（外国人教員の場合はサイン）願った後、提出すること。

3. 論文目録（本研究科所定の様式）…………… 3 通

- (1) 論文題目が外国語の場合は、和訳を（ ）に付して記載すること。
- (2) 公表の方法及び時期については、著者名または発表雑誌名（巻号）、発行所名、発行年月日、発行冊数等を記載すること。

4. 論文（写）…………… 3 部

- (1) 論文の作成は、修士論文の作成要領に準ずる。
- (2) 学位論文審査のため、必要があるときは、提出論文の部数を増し、また、参考資料、訳文その他を提出させることがある。

5. 副論文（内容が主論文と関係があるもの）…………… 3 部

6. 参考論文…………… 3 部

副論文、参考論文は、ある場合のみ表紙をつけて提出すること。

7. 論文の要旨（本研究科所定の様式）…………… 3 通

- (1) A4版で、パソコンで作成（拡大・縮小コピーは不可）、用紙の外枠にかからないように作成すること。
- (2) 和文で作成する場合は、2,000字～3,000字、英文で作成する場合は、700語～1,000語で作成すること。

8. 履歴書（本研究科所定の様式）…………… 3 通

- (1) 氏名（戸籍どおり）、本籍地は都道府県のみ（日本国籍以外の者は国籍）を記入すること。
- (2) 学歴欄は、大学入学時から順を追って記載する。
- (3) 年月日については、正確に記載すること。
- (4) 外国人の場合、学歴・研究歴・職歴欄の記載に際しては、外国における状況は、西暦で、日本国内における状況については、和暦（元号）を使用すること。
- (5) 生年月日の記載については、西暦、和暦（元号）いずれでもよいが、学位記は、履歴書に記載された年月日で作成される。

博士学位申請論文提出の申合せ

- 1. 提出する論文は、製本された刊行物か A4 版用紙に印字し製本したものを原則とする
- 2. 提出する論文及び論文要旨は正 2 部以外はコピーでも可とする

博士学位論文審査申請書

年 月 日

国際コミュニケーション研究科長 殿

申請者
国際コミュニケーション研究科 博士後期課程
国際コミュニケーション専攻
平成 年 月 入・進学

氏 名 ㊟

名古屋外国語大学学位規則第5条の規定に基づき、下記の書類を添え、博士論文審査を申請します。

記

論 文 3 通

論文目録 3 通

論文の要旨 3 通

履 歴 書 3 通

副論文・参考論文・資料

取得単位数		
取得済	取得予定	計
科目 単位	科目 単位	科目 単位
研究経過報告書の認定		

博士候補資格の取得	
認定日	年 月 日

指導教授名	確認印

年 月 日

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男・女
生年月日	年 月 日	生
本 籍 地	都・道・府・県 (日本国籍以外の者は国籍)	
現 住 所	〒	
学 歴		
研 究 歴		
職 歴		

備考:用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とすること。

論 文 目 録

年 月 日

申請者氏名

主論文

(1) 題 目

(2) 発表論文リスト

(3) 学会(研究会)における研究発表又は研究報告

参考論文

(1) 題 目

(2) 発表論文リスト

(3) 学会(研究会)における研究発表又は研究報告

備考:1. (2)発表論文リスト及び(3)学会(研究会)における研究発表又は研究報告は、別紙で添付することもできる。

2. 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とすること。

論 文 の 要 旨

年 月 日

申請者氏名

論文題目

備考: 1. 和文で作成する場合は、2,000字～3,000字、英文で作成する場合は、700語～1,000語程度で作成すること。

2. 用紙の大きさは、日本工業規格A4縦型とすること。